

B-2 TeXを用いた卒業研究発表会用の予稿原稿の書き方 タイトルはあまり長くないように

35 番 本間 三暉（高橋研究室/高橋 章）

Abstract

本稿では、TeXを用いた卒業研究発表会用の予稿原稿の書き方について説明します。予稿では、アブストラクト（和文、英文のどちらでも可）が必要になります。本稿を熟読の上、予稿集の原稿を執筆してください。

1 はじめに

本稿では、TeXを用いた卒業研究発表会用の予稿原稿の書き方について説明します。スタイルファイル（outline-ec.sty）を使用することで、Word版に準じたフォーマットになります。

原稿のページサイズはA4とし、2ページ（裏表）となるように作成してください。ページマージンは、1ページ目は上：20 mm、下：20 mm、右：20 mm、左のみ：25 mm、2ページ目は上：20 mm、下：20 mm、右のみ：25 mm、左：20 mmとしてください。

ヘッダー（タイトル、名前）とAbstract部以外はすべて2段組みとします。ただし、図表（計画表など横長の図表）に限っては、必要に応じて1段組みにしても構いません。

2 フォントサイズ等について

予稿原稿で使用するフォントサイズ等について説明します。

2.1 発表番号およびタイトル

発表番号およびタイトルはゴシック体、12 ptで記載してください。タイトルが1行に収まらない場合やサブタイトルがある場合は\\で改行してください。

2.2 発表者氏名および所属研究室名等

発表者氏名および所属研究室名等は明朝体、10.5 ptで記載してください。研究室名と指導教員名はカッコ内に記載してください。

2.3 Abstract

Abstractには、研究全体の概要・要約を1段組みで記載してください。日本語の場合は、200～300字程度（明朝体、10 pt、改行幅はシングルスペース、改行は使用可）で、英語で記載する場合は50～100 words程度（Serif体、9～10 pt、single space）で記載してください。

2.4 本文

本文は、日本語は明朝体、10.5 ptで記載してください。英語や記号など半角文字を使用する場合は、Serif体、10.5 ptで記載してください。

2.5 参考文献について

本文中の参考文献は、引用元を示す場合には上付きで明記（○○^[1]）し、本文中で用いる場合には、本文のフォントサイズと同じサイズ（文献[1]より）で記載してください。

参考文献リストでは、基本的に本文より若干小さいフォントで記載してください。日本語は明朝体、10 pt、英語はSerif体、9～10 ptとしてください。リスト番号は下記のように記載してください。

[1] 奥村晴彦, “改訂第3版 L^AT_EX2_ε 美文書作成入門”, 技術評論社, 2004

[2] 藤田眞作, “L^AT_EX 2_ε 階梯 第2版”, ピアゾン, 2000

2.6 図表

図表のキャプションは、図○、表○としてください。図表を挿入したら必ず本文中で「○○を 図5に示す」というような説明文を加えてください。

3 予稿の書き方

予稿は、研究内容がわからない人が読むということを意識して書いてください。ただし、スペースの関係もあるので、省略するところは省略し、研究の概要がわかるようにまとめてください。

3.1 予稿に記載する事項

予稿は以下の項目を参考に構成してください。

1 研究背景・目的

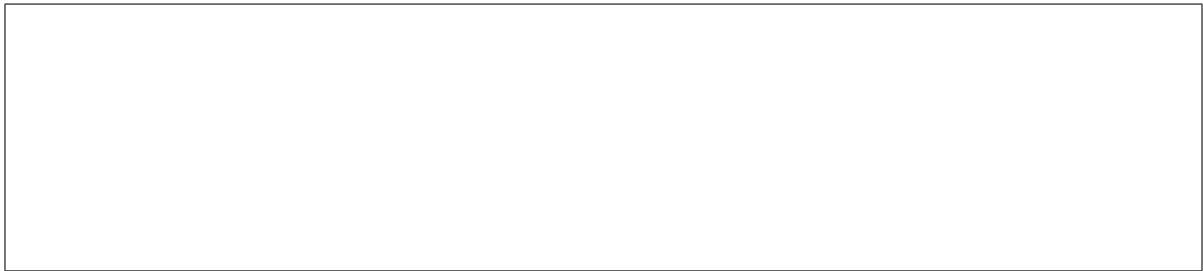
自分が進めようとする研究に関して、現在または過去の事実を述べ、ニーズや問題点を挙げるなどして、研究目的を述べてください。場合によっては長期的な目標（最終目標）があり、そのためのアプローチとしての短期目標（本年度の目的）があるかもしれませんので、その点も明記してください。

2 研究（または実験）内容・方法

自分の研究の核となる理論、方法、装置などの説明を述べてください。場合によっては節、小節を設けて述べていく必要もあるかと思います。

3 研究（または実験）結果

自分の研究で得られた結果を記載してください。データなどを測定している場合には、その測定



方法などを説明し、結果やその考察などを載せてください。考察では、その結果からどんなことが言えるのか、その結果は何かに裏付けされているのかなどを示してください。

4 まとめ・今後の課題

自分の研究のまとめと今後の課題を簡素に記載してください。特に、研究結果では、何が得られたのか、どういうことが分かったのかを記載してください。

5 参考文献

研究を進めていくうえで参考にした参考文献を挙げてください。

参考文献のフォーマットとしては、

- [1] 本の著者, “本の題名”, 出版社, 発行年
- [2] 論文の著者 1, 論文の著者 2, “論文の題目”, 論文誌名, 巻, 号, 掲載ページ, 発行年

としてください。

3.2 T_EX 版での設定項目

原稿執筆に際して、サンプルファイル (outline.tex) で、はじめに設定する項目について説明します。

以下の項目を必ず設定してください。研究室記号は変更になる可能性があるので、よく確認して間違いないようにしてください。特に、発表番号は研究室での発表順になるので、指導教員とすり合わせを行っておいてください。

```
\氏名{著者名}
\出席番号{出席番号}
\発表番号{研究室記号\;--\; 発表番号}
\研究題目{研究題目}
```

卒研発表会の予稿では、アブストラクトが必須になりますので、以下の項目を設定してください。

```
\アブストラクト{アブストラクト}
```

3.3 本文中の文献参照について

参考文献を引用するには、`\cite{文献ラベル}`とすることで、本文中に文献リスト番号を出力してくれます。

本文として文献番号を用いたい場合には、`\Cite{文献ラベル}`のように、通常の文献参照コマンドの頭文字を大文字に変えたコマンドを利用することで本文と同じサイズで表示されます。

3.4 図表について

予稿は 2 段組で構成されているので、図表の作成には注意してください。図表の横幅は、基本的に本文の横幅よりも少し狭いように作成し、図表内で使用する文字サイズはできるだけ本文の文字サイズよりも一回り小さなサイズ設定としてください。また、小さすぎる文字サイズは避けるようにしてください。

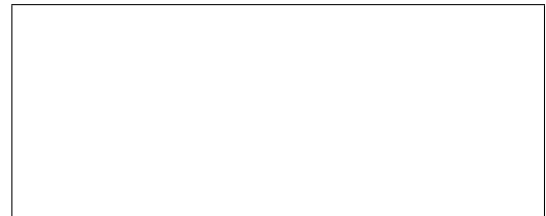


図 1 ○○

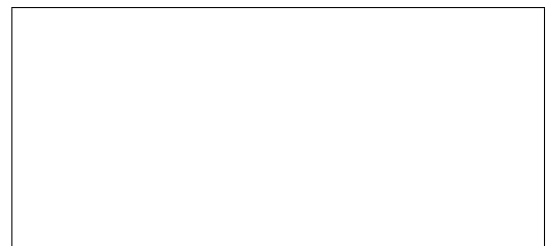


図 2 ○○

4 おわりに

本稿では T_EX を用いた卒業研究発表会用の予稿原稿の書き方について説明しました。T_EX 版では、初期設定項目や特殊な使い方がありますので、本稿を熟読の上、原稿を執筆してください。

参考文献

- [1] 奥村晴彦, “改訂第 3 版 L^AT_EX2_ε 美文書作成入門”, 技術評論社, 2004
- [2] 藤田眞作, “L^AT_EX 2_ε 階梯 第 2 版”, ピアゾン, 2000
- [3] 高橋章, “T_EX によるレポート作成”, 電子制御工学科 第 3 学年前期学生実験テキスト, 2003